農林・水産業

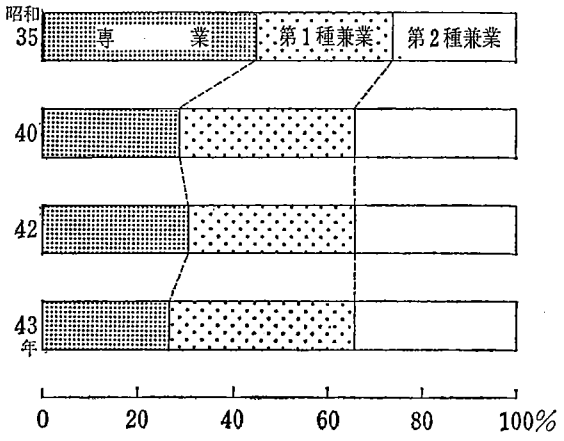
26. 農家数

県農業基本調査による昭和43年の総農家数168,215戸で，前年同期と比較すると減少率は0.94%であるが実数で1,585戸減少した。

専業，兼業別の内訳をみると，前年に比較して専業農家で約6千戸（12.4%）が減少し反面，兼業農家は約5千戸(4.2%）が増加し兼業化の傾向がみられる。

経営耕地規模別にみると，2.0ha未満はいずれも減少し，これに対して，2.0ha以上は増加を示し，経営耕地規模は，わづかながら拡大化の方向にあるといえよう。

専業、兼業別農家数の割合



各年2月1日現在

年	専業，兼業別農家数				
	総数	専業	兼業		
			計	第1種	第2種
昭和25年	184 393	100 494	83 899	53 703	30 196
35	181 899	82 274	99 625	52 941	46 684
38	176 179	…	…	…	…
39	173 991	67 825	106 166	49 760	56 406
40	173 023	50 671	122 352	64 226	58 126
41	171 324	61 328	109 996	54 458	55 538
42	169 800	52 217	117 583	60 140	57 443
43	168 215	45 726	122 489	65 215	57 274

年	経営耕地面積広狭別農家数					
	0.1～0.5ha	0.5～1.0	1.0～2.0	2.0～3.0	3.0ha以上	例外規定
昭和25年	50 432	57 240	67 038	8 832	574	277
35	46 875	55 865	69 002	8 753	537	867
38	44 219	53 784	67 715	9 075	579	807
39	43 729	52 874	66 803	9 224	595	766
40	43 802	51 798	66 426	9 709	673	615
41	43 570	52 396	64 921	9 225	611	601
42	43 371	51 751	64 091	9 379	634	574
43	43 225	50 844	63 312	9 573	691	570

統計課調　注）農家とは，次に掲げる規模の農業を営む世帯をいう。①経営耕地面積が10アール以上であるもの。②経営耕地面積が10アール未満または皆無でも過去1年間の農産物販売額が3万円以上（25年は1万円，35,38,39年は2万円）であるもの。（例外規定という）